



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）1月15日号 No. 1583

目次

■ 岐路に立つロシアを展望する	遠藤 寿一	1
■ キーパーソン		11
ウクライナの新内閣の名簿		11
■ 統計速報		12
2012年1～11月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績		12
2012年1～11月の日ロ貿易		13
■ トピックス		14
富士通ゼネラル、モスクワに駐在員事務所		14
医療機器アドテックがロシア企業に販売権供与		15
日ロの査証手続き簡素化へ		15
ロシア・カルーガ州に工業生産経済特区		15

岐路に立つロシアを展望する

ロシアNIS経済研究所 所長
遠藤 寿一

はじめに

世界の主要国の指導者が新しく選ばれ、復活し、留任した2012年は波乱に富んだ1年であった。ギリシャの財政破綻に端を発し、欧州大陸を覆った金融不安は今もなお解決せず、長期化の様相を呈している。北米大陸のシェールガス・オイルに象徴されるエネルギー革命は、世界の外交・産業政策に重大な影響を与えた。資源依存型のロシアにとっては、国家財政にもかかわる深刻な問題でもあった。APEC主催国になったロシアは、アジア太平洋地域に確固たる地盤を固めることになったが、国内では官僚の汚職問題が大きくクローズアップされて、海外からの投資に影響がでることが懸念され、長期政権のひずみを垣間見ることにもなる。

2012年は日露関係にとっては、近年では各方面の人事交流が最も盛んになった年でもあった。12月26日安倍内閣が誕生すると、プーチン大統領は、間髪を入れず祝電を送り「二